

〈特集補遺「アスペクト」〉

言語データ「アスペクト」  
—クメール語—

Data, Special Issue : “Aspect”  
-Khmer-

上田 広美  
Hiromi Ueda

東京外国語大学大学院総合国際学研究院  
Tokyo University of Foreign Studies

**要旨** : 本稿は, 特集「アスペクト」の調査票に基づきクメール語の資料を収集したものである.

**Abstract**: This article provides Khmer data collected by using the questionnaire prepared for the special issue “Aspect”.

**キーワード** : クメール語, カンボジア語, 完了, 進行, 将来

**Keywords**: Khmer, Cambodian, perfect, progressive, future

## 1. はじめに

クメール語では, 一般に, 動詞句に後置される /haəj/ が動作の完了を, 動詞に前置される /nuŋ/ がある時点以降に生起し得る出来事を, /kəmpòŋ/ が動作の進行を表す. また, カンボジアの国文法の教科書では, 現在, 過去, 未来の3種類の「時」を表す助動詞として, /nuŋ/ と /baan/ と /kəmpòŋ/ を挙げている. しかし, この4語のうち, /haəj/ 以外は必須の要素とは言えず, 過去, 将来, 進行を表す用例においても特別な標識が用いられないことが多い.

以下, アンケートに従って言語データを示す. 例文とそれに関する判断は, バン・ソバタナ氏<sup>1</sup>にご教示いただいた. 以下, 本稿の表記は音韻表記で, 坂本(1988)に従う.

## 2. データ

1. スオンさんは／あの方は もう来た.
2. スオンさんは／あの方は もう来ている.

suon/kəət	mòk	dəl	haəj
PSN/3SG	come	arrive	PRF

(1) と (2) は同じ表現になる. いずれも動詞に完了を表す /haəj/ を後置する.



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します.  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

<sup>1</sup> カンボジア王立プノンペン大学国文学科教員. 本稿へのご協力に深く感謝する.

3. スオンさんは／あの人は まだ来ていない。  
 4. スオンさんは／あの人は まだ来ない。

suon / kəət	mum	təən	mòk	dəl	tèe
PSN / 3SG	NEG	in time	come	arrive	PTCL

(3) と (4) は同じ表現になる。いずれも動詞に /mum təən/ を前置して否定する。

5. スオンさんは／あの人は もう (すぐ) 来る。

təc tiət	suon / kəət	mòk	dəl	haəj
soon	PSN / 3SG	come	arrive	PRF

完了表現の /haəj/ を使うことができる。

6. (あ!) スオンさんが来た! [その人が来るのに気づいた場面での発話]

- 6a) (あっ,) スオンさんが来た。(来ることを予想していた場合/していなかった場合)

suon	mòk	haəj
PSN	come	PRF

- 6b) (あっ,) スオンさんが来た。(来ることを予想していなかった場合)

suon	mòk	taə
PSN	come	PTCL

来ることを予想していた場合も予想していなかった場合も、同じように完了表現の /haəj/ を用いることができる。来ることを予想していなかった場合には、完了表現ではなく、意外性を表す文末詞の /taə/ を用いることもある。

7. 昨日スオンさんが来たよ。

pii msəl məŋ	suon	(baan)	mòk
yesterday	PSN	get	come

クメール語では過去を表すのに特別な形式は必要としない。しかし、カンボジアの国文法の教科書では、過去を表す助動詞として /baan/ が挙げられている。上田 (2010) では、動詞の前の /baan/ は現在や未来を表す文にも用いられるため、単純に過去形とは考えにくいことを述べた。また、/baan/ が「(何かを) 得る」という意味を持つ本動詞として用いられることから、何らかの結果が成立する確実性や、新しい状態が生じることを表すと考えた。また、動詞の前に /baan/ ではなく所有・存在を表す動詞 /mèən/ が置かれると過去を表すという先行研究もあるが、今回の例文 (7) では、/mèən/ を動詞に前置することはできなかった。

8. 昨日スオンさんは来なかったよ。

pii msəl məŋ	suon	mum	(baan)	mòk	tèe
yesterday	PSN	NEG	get	come	PTCL

例 (3) と (4) の「まだ来ていない」とは否定を示す要素が異なる。否定文の場合には、例 (7) で言及した、動詞の前の /baan/ を付加する用例の出現頻度が高くなる。しかし、この例 (8) では、/pii msəl məŋ/ 「昨日」という語句が過去を明示しているのであって、かりに「明日スオンさんは来ない」という未来を表す文であっても、動詞の前に /baan/ を付加することができる。この例 (8) で /baan/ を用いないと、否定辞 /mum/ がその直後の動詞を否定することになり、「来ようとしなかった」という意味になる。

9. (私は) あのマンゴーをもう食べた.

(kɲom) ɲam svaaj nuh haəj  
1SG eat mango that PRF

他動詞であっても、動詞に完了を表す /haəj/ を後置するという形は同じである.

10. 私はあのマンゴーをまだ食べていない. / 私はあのマンゴーをまだ食べない.

(kɲom) muun tən (baan) ɲam svaaj nuh tɛ  
1SG NEG in time get eat mango that PTCL

他動詞であっても、動詞に /muun tən/ を前置して否定するという形は同じである. 動詞の前に /baan/ を付加しないと「まだ食べるつもりがない」ことを明示できる.

11. あの人は今 (ちょうど) そのマンゴーを食べています / 食べているところです.

ʔəjləv nih kət (kəmpòŋ) ɲam svaaj nuh  
now 3SG PROG eat mango that

動作が現在進行中であることを明示する場合には、動詞の前に /kəmpòŋ/ を付加することもできる.

12. 窓が開いている / 窓が開いていた.

12a) bəŋʔuoc baək  
window open

12b) kɛ baək bəŋʔuoc caol  
3PL open window leave

結果状態の継続には、進行形は用いない. また、「誰かが窓を開けてある」という構文 (12b) も可能である.

13. 私は毎朝新聞を読む / 読んでいる.

rəl pruk kɲom ʔaan kaasət  
every morning 1SG read newspaper

習慣を示すアスペクト的形式 /təp/ は、(15) のように過去の場合のみ用いられ、「現在の習慣」については特別な形式を用いない.

- 14.

- 14-1 あなたは (あなたの) お母さんに似ている.

nək srədiəŋ mdaaj nək  
2SG resemble mother 2SG

- 14-2 彼女は結婚している.

kət mən kruosaa haəj  
3SG have family PRF

「似ている」は進行形など特別な形式は用いない. 一方で、「結婚している」であれば、完了を表す /haəj/ を用いることができる.

15. 私はその頃毎日学校に通っていた。

15a)   kaal    nuh    kɲom   (tlɔəp)   təv    riən    nəv    saalaa   rɔəl   tɲaj  
         time   that   1SG    HBT    go    study   in    school   every   day

15b)   kaal    nuh    kɲom    nəv    riən    nəv    ləəj  
         time   that   1SG    still   study   still   PTCL

過去の習慣を表す場合には、動詞の前に経験や習慣を表す /tlɔəp/ を置くこともできる。また、「まだ学生だった」という意味で動詞の前に /nəv/ を用いる表現 (15b) が一般的である。

16. 私は東京に行ったことがある。

         kɲom    (dael)    təv    tii kroŋ   tookjoo  
         1SG    EXP    go    city    PLN

経験を表す例文で進行形は用いない。動詞の前に /dael/ を置くことができる。

17. やっとバスは走り出した／走り始めた。

         tii bəmphot            laan kroŋ            ceŋ    dɔmnaə   haəj  
         at last               bus                out    travel   PRF

開始的なアスペクト表現の例文でも完了を表す /haəj/ を用いる。

18. 昨日彼女はずっと寝ていた。

         pii msəl mən        kɔət    deek    rɔəhoot            pəŋ    muoj    tɲaj  
         yesterday        3SG    lie down   whole time        full    1        day

長時間の継続を表す特別な形式はない。

19. 私はその菓子をちょっと食べてみた。

         kɲom    ɲam    nòm    nuh    saak    məəl    bɔntəc  
         1SG    eat    cake   that   try    see    a little

試行的なアスペクト表現に特別な形式はないが、日本語の「～てみる」のように、「見る」という意味の動詞 /məəl/ を後置する。

20. あの人(ら)はそれ(ら)をみんなに分け与えた。

         kɔət    caek    ròmliək   rɔəbɔh   nuh    ʔəoj    nək    təəŋ ʔɔh knəə  
         3SG    divide   share   thing   that   give   person   everyone

多くの(間接)目的語に対する多回的なアスペクト表現はない。

21. さあ、(私たちは)行くよ!

         tɔh    jəəŋ    təv  
         INTJ   1PL    go

特別な形式を用いない。このような表現で、「過去形」に相当する形式を使うことはない。

22. 地球は太陽の周りを回っている.

phaen dɔj vuul      còmvuɔŋ prèəh ʔaatut  
earth      round      around      sun

いわゆる「恒常的な真理」の表現は特別な形式を用いない.

23. あの木は今にも倒れそうだ.

daəm chəə      nuh      (nuɔŋ)      rɔ̀ɔlom      ʔəjləv      haəj  
tree      that      FUT      fall      now      PRF

特別な形式を用いずに, 動詞句の後に /ʔəjləv/ 「今」という時を表す名詞を付加する. さらに動詞の後に完了を表す /haəj/ を付加したり, 動詞の前に /nuɔŋ/ を付加することもある. この /nuɔŋ/ について上田 (2011) では, 近い未来を表す語句と共起しやすいこと, 既に開始されたり開始されることが確実な場合には用いられないこと, 発話時との関係とは限らず, ある出来事時と別の出来事時の継起的関係を示し, 基本的意味は, 「まだ起きていない事態が起り得る」ことだと考えられることを述べた.

24. (私は) あやうく転ぶところだった.

(knom)      hiəp      nuɔŋ      duol  
1SG      IPFV      FUT      fall

未実現の事態を表すのには, 動詞の前に /hiəp nuɔŋ/ を付加する.

25. 明日客が来るので, パンを買っておく.

sʔaek      nih      mən      pɲiəv      knom      tɛŋ      nòm paŋ      tɔk  
tomorrow this      have      guest      1SG      buy      bread      keep

準備を表すのに, 日本語の「～ておく」のように, 「置く」という意味の動詞 /tɔk/ を後置する.

26. (私は) 市場に (街とか市場とか) 行ったとき, この袋を買った.

(knom)      tɛŋ      thəŋ      nih      nəv      pèel      knom      tɔv      psaa  
1SG      buy      bag      this      in      time      1SG      go      market

時制の一致を形式的に示すことはない.

27. (私は) 市場に (街とか市場とか) 行く前に, この袋を買った.

(knom)      tɛŋ      thəŋ      nih      mən      pèel      knom      tɔv      psaa  
1SG      buy      bag      this      before      time      1SG      go      market

時制の一致を形式的に示すことはない.

28. (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた.

(knom)      dəŋ      thaa      kɔət      tɛŋ      thəŋ      nih      nəv      psaa  
1SG      know      that      3SG      buy      bag      this      in      market

時制の一致を形式的に示すことはない.

### 3. おわりに

以上のデータで示したように, クメール語でテンスやアスペクトを表す助動詞とされている形式のうち, 完了を表す /haəj/ のみが動詞に後置され, また出現頻度が高い. それ以外の /nuɔŋ/ と /baan/ と

/kɔmpòŋ/ は、動詞に前置される。また、/nuuŋ/ と /kɔmpòŋ/ は否定できず<sup>2</sup>、そのあとに続く動詞を否定する構文となる。

アンケートの例 (26) (27) (28) では、時制の一致を形式的に示すことはなかったが、上田 (2011, 2012) の調査では、複数の出来事を含む文では、それぞれの出来事の時間の前後関係を明らかにするために、/nuuŋ/ と /kɔmpòŋ/ が出現しやすかった。/nuuŋ/ については、条件文や引用文を中心に複数の節の示す出来事間の継起的関係を明示する必要がある場合に、/kɔmpòŋ/ については、ある出来事が起こっている最中に、別の出来事が起きたことを描写する文脈で頻度が高かった。一方、/baan/ の過去を表す用法については、近年、公文書や翻訳で出現しやすくなっており、文体の差による制限が存在するとも考えられる。本稿では、アンケートに従ってデータを示すことを目的としたが、/baan/ の用法の変化については、あらためて考察したい。

略語は以下の通り。使役 CAUS, 経験 EXP, 1 人称 1, 未来 FUT, 習慣 HBT, 不完了 IPFV, 間投詞 INTJ, 否定 NEG, 文末詞 PTCL, 完了 PRF, 人名 PSN, 複数 PL, 地名 PLN, 進行 PROG, 2 人称 2, 単数 SG, 3 人称 3, 自由交替 /

#### 参考文献

和文

- 上田広美. 2012. 「現代クメール語の進行形について」, 『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』, 43, pp. 193-209.
- 上田広美. 2011. 「クメール語の「将来」を表す標識について」, 『慶應義塾大学言語文化研究所論集』, 42, pp. 193-218.
- 上田広美. 2010. 「クメール語の動詞句における /baan/ について」, 『慶應義塾大学言語文化研究所論集』, 41, pp. 149-164.
- 坂本恭章. 1988. 「クメール語」, 『言語学大辞典第 1 巻世界言語編 (上)』, pp.1479-1505, 亀井孝, 河野六郎, 千野栄一編, 三省堂.

執筆者連絡先 : uedahiro@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2019 年 12 月 3 日

---

<sup>2</sup> 近年, ウェブサイト上の翻訳記事では, /kɔmpòŋ/ の否定形が現れる例もある。